

和気町議会だより

和気議会 NAVI

和気町議会
第72号
令和6年
3月定例会

2 特集 議会視察研修

4 令和6年度 主要事業について

5 質疑と答弁

9 委員長報告

12 一般質問





特集

議会 視察研修



OBSERVATION TRAINING

- 視察日程：令和6年2月16日～17日
- 視察内容：企業誘致による町の活性化、公共交通の新形態
学校跡地利用
- 視 察 先：「徳島県神山町 サテライトオフィス」
「兵庫県淡路市尾崎 SAKIA (サキア)」他

視察1

移住交流事業・サテライトオフィス

町から委託を受けたNPO法人が、移住手続きや空家募集・リフォームなどを行っている。海外アーティストが滞在して作品を作ることが移住につながった。また、学生による古民家再生プロジェクトで空き店舗の活用が促進されていた。神山塾では地域滞在型の職業訓練が行われており、定住率30～40%である。サテライトオフィスは自然に囲まれた地域にあり、宿泊および飲食施設も備えている。





まちのクルマ Let's

『まちのクルマ Let's』は神山町内のタクシー利用者に補助金を出すもの。利用登録はマイナンバーカードで行い、利用予約はアプリを使い簡単にできる。補助金上限8,000円／月は、ほぼ神山町全域をカバーする。

利用イメージ

①利用登録

役場または支所・公民館でマイナンバーカードを提示して利用登録申請

②予約

電話またはアプリで予約



③乗車

マイナンバーカードで利用登録の確認



④降車

登録者は運賃の15%負担で利用できる(運賃上限8,000円／月まで)

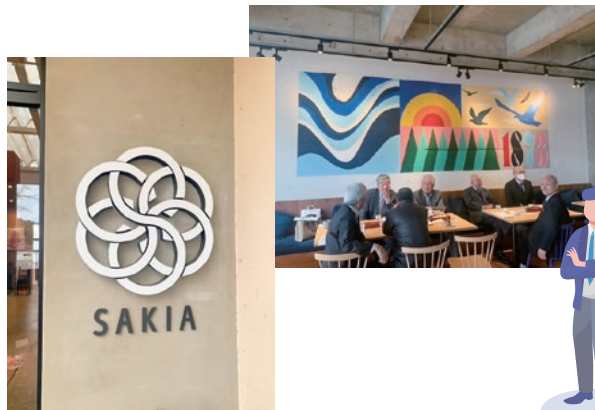
視察2

旧尾崎小学校再開発「SAKIA(サキア)」

～食・アート・学び そして地域との融合施設～



レストラン事業を手がけるバルニバービが運営する兵庫県淡路市の小学校跡地施設。子ども図書館やレストランがあり、アートとの融合で新鮮さを表現している。また、地域との連携も図りながら、観光地としても優れている。次の展開として、宿泊施設を検討するなど、空き小学校跡地が複数ある和気町にとっても理想的な活用方法ではないか。



SAKIA

✓ 視察を通じて

参考になったことが多くあった視察であった。和気町に活かせるものがあれば執行部と話し合いを進め、方策を見出したい。

令和6年度

主要事業について

一般会計



■高校魅力化事業

5億4,294万円

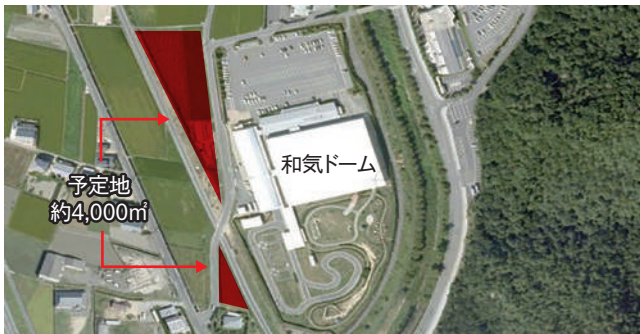
地域学習交流センターを建設し、地域の交流拠点を目指す。



■佐伯グラウンド改修事業

8,906万円

老朽化や球場の機能不足部分を改善し、利用者の利便性を高め町民のスポーツ振興を図る。



■益原多目的公園駐車場増設事業

2,105万円

益原多目的公園の駐車場を増設し、イベント時などでの駐車場不足の課題解消を図る。



■帯状疱疹ワクチン接種費助成事業

388万円

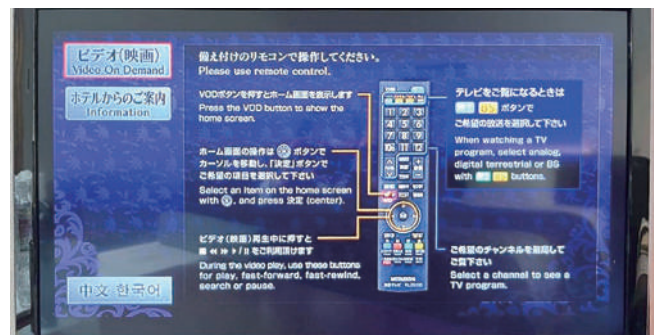
帯状疱疹の発症及び重症化の予防を図るため、接種希望者に対し費用の一部を助成する。

特別会計

■和気鶴飼谷温泉リニューアル事業

6,182万円

- ・温泉脱衣場および下足ロッカー更新。
- ・2階レストラン・階段ホール空調機器更新。
- ・客室インフォメーションサービス導入。
- ・客室テレビ更新。



客室テレビの表示画面(イメージ)

質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。



令和5年度 一般会計補正予算(第10号)

電気自動車充電設備の
設置方法見直しとは

山田 浩子 議員

Q 設置方法の見直しを行ったそうだが、その内容とは。

A 竹内 住民課長

当初、国の補助金活用を予定していたが、設置費用がかからない民間事業者を活用することにした。

文化財改修補助金の減額は

広瀬 正男 議員

Q 文化財改修補助金270万円の減額理由は。

A 森元 社会教育課長

旧大国家住宅の補助金の減額で、文化庁等々と協議し、国の予算の都合上、事業費自体が減ったため補助金を減額した。

コロナ対応は今後どうなる

西中 純一 議員

Q 衛生費の国庫負担金が1550万円、国庫補助金新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業で625万円ということで合計2100万円減額になっている。コロナにかかっても健康保険で治すことになり負担が増加するのでは。

A 松田 健康福祉課長

接種対策費、接種確保事業補助金それぞれの減額は、公費負担によるワクチン接種が3月末で終了するので実績による減額である。今年10月のワクチン接種で今まで全額公費負担だったものが定期接種になり、自己負担が発生すると思われる。町でインフルエンザ接種と同じくらいの補助をして、できるだけ住民の負担がかからないような支援をしていきたい。

償却資産の内容は

神崎 良一 議員

Q 現年課税分の償却資産2406万5000円の詳細は

A 豊福 税務課長

佐伯地域のメガソーラー、美作市分の修正申告があったためだ。

介護保険特別会計補正予算 (第3号)

介護給付の減額理由は

西中 純一 議員

Q 介護保険サービスの居宅サービスが4000万円、施設サービスが1500万円、介護予防サービス給付費が1000万円の減額理由は。

A 万代 民生福祉部長

対象者の減、コロナによる利用控えが主な要因である。また、特定施設入居者生活介護において、想定していた介護度より低い方が入所された関係で、その差額分が4500万円ほどの減額になった。

介護給付費積立金の総額は

山本 稔 議員

Q 介護給付費準備の積立金、積み立てた総額は。

A 万代 民生福祉部長
現在2億6073万8510円で今回5000万円積み立てする予定である。

和気町和気鶴飼谷温泉事業 特別会計補正予算(第3号)

温泉会計の繰越明許費は
どうなる

西中 純一 議員

Q 繰越明許費※1で5698万円の内容は。

A 大竹 支配人

内容は源泉ポンプ更新工事だ。ポンプインバーターについて現在のところ3月後半もしくは4月上旬には納品可能かという状況であり、6月の工事を計画している。

用語解説

※1 繰越明許費

歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算に定めるところにより、翌年度に繰り越して使用する経費。



令和5年度地域開発事業 特別会計補正予算(第2号)

宮田分譲地の収支は

居樹豊議員

Q 宮田の分譲地の収支状況はどうなっているのか。

A 西本 都市建設課長

現在11区画が売却できていて、残り7区画が全部が売れたとして、歳出の解体費、工事費等を含め、約2100万円の赤字となる。

学校給食共同調理場等 条例の一部改正

条例改正に伴う人員配置は

居樹豊議員

Q 本荘小学校で和気小学校の給食を作るにあたって、町の調理員等の配置はどうなっているのか。

A 徳永 教育長

本荘給食調理場が共同調理場となることから、来年度に向けて円滑に実施できるように、人員配置していく。



和気町介護保険条例の 一部を改正する条例

保険料が上がる人はいないのか

西中純一議員

Q 標準保険料5900円は変わらず大幅な値上げにならないが第9段階から第13段階への多段化の影響は。

A 万代 民生福祉部長

9段階から13段階になる。影響者は154%で被保険者5521名の内82名の方が影響を受ける。今回の改正は、低所得者の保険料上昇を抑制する目的で多段階化するものだ。

手話言語条例の制定

現状の対応と今後の計画は

我澤隆司議員

Q 今まで手話言語の対応をどのような形で実施していたか。制定後にどのようなことを実践しようとしているのか。

A 松田 健康福祉課長

必要に応じて岡山県聴覚障害者センターから手話通訳者の派遣を受けている。制定後はさらに窓口での手話の対応を可能にするための職員研修の予算計上や、広報誌等でも手話言語の普及に努めていきたい。



条例制定は初めの一步。今後の取り組みが重要である。

令和6年度一般会計予算

日常生活用品買い物支援事業とは

居樹豊 議員

Q 買い物支援事業費の委託料264万円の内容は。

A 松田 健康福祉課長

買物が困難な状況にある高齢者等の日常生活を支えるため、対象者に宅配サービスにかかる配達料の一部を補助するものである。

子育てに関する委託料の内容は

山田 浩子 議員

Q 子ども・子育て支援事業計画、子育て短期支援事業は令和7年度実施予定だが、その内容はファミリーサポートは考えていないのか。

A 松田 健康福祉課長

第2期和気町子ども・子育て支援事業計画が令和6年度で終了するため、現行計画の見直しや、就学前児童及び就学後児童の保護者を対象としたアンケート調査を実施する。今後必要とされる保育サービスのニーズの算定ならびに会議支援、計画書の策定を依頼するものである。

ファミリーサポートは、町としても進めていきたいが、まずはサポーターの養成や支援してもらえらる方を見つければいいから始めて、開設につなげていきたい。

地域学習交流センターは

從野 勝 議員

Q 予算が約5億円の大きな事業である。和気閑谷高校存続のため町として尽力する事業であるが、非常に重荷にもなる。今後の活用について岡山県と十分協議がなされているのか。

A 太田 町長

地域の衰退を避けるためにも和気閑谷高校は必要な学校だ。高校と連携を取り岡山県にも町の要望をつないでいく。

佐伯グラウンド整備の内容は

山本 稔 議員

Q 佐伯グラウンドの駐車場拡張の工事はできないのか

A 森元 社会教育課長

主には球場の機能部分及びその周辺の付帯設備を整備するもので、駐車場は今回含まれない。

A 太田 町長

今後、利用状況を踏まえ駐車場の拡張も含め検討したい。

学校給食の無償化はどうなるのか

西中 純一 議員

Q 多子世帯給食費補助金で1341万円、第2子半額で、第3子無料という学校給食の補助金だろうと思うがこの補助金は今後どうなるか。

A 新田 教育次長

第2子半額、第3子無料の制度だが、今後については国の動向や周辺市町の動向を見ながら考えていきたい。

地域学習交流センターは計画通り建設か

山野 英里 議員

Q 図面などが示されていないので、イメージしにくい。スポーツ振興監も辞任した。一度、建設してしまうと維持費が伴うが、このまま建設してよいのか。

A 寺尾 まち 経営課長

最終的に設計の数量等をまとめている状況だ。遠方からの学生を受け入れる、キャパシティの確保のために、取り急ぐのが最良だと判断した。本館、別館で、トータルの定員数は40名、1室2名で20室程度を整備する設計だ。

和気町の財政状況をわかりやすく

我澤 隆司 議員

Q 和気町の基金(預金の総額)はいくらあるか。保有形態は。起債(借金の総額)いくらあるか。

A 海野 財政課長

最新の令和4年度決算では、預金ともいえる基金は47億790万円。国債の10億円以外は、普通預金と定期で運用している。まちづくり基金も、国債や定期預金で運用。借金ともいえる地方債残高は150億1200万円。

協力隊活動用備品購入費は

広瀬 正男 議員

Q 協力隊活動用備品購入費131万8000円は、何を購入するのか。

A 寺尾 まち 経営課長

この備品購入費は、新しく地域おこし協力隊が配置になり、パソコンやタブレット、通信機材などが必要となり、新たに購入するためのものだ。

障がい者福祉助成対策は統一できないか

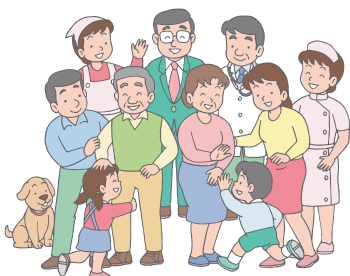
山本 泰正 議員

Q 情報システムタブレット助成では、身体障害者1・2級のみ、今回のタクシー助成では、身体障害者手帳及び精神福祉手帳1・2級所持者並びに療育手帳Aの所持者となっている。

福祉対策は、統一的な対応をすべきではないか。

A 太田 町長

それぞれ事業で対応の違いもあるが、事業内容による違いを考慮した結果だ。障がい者に対する福祉施策については、今後統一に向けて検討したい。



令和6年度国民健康保険
特別会計予算

山本 稔 議員

Q 特定健診の委託料の受診
目標は

A 竹内 住民課長

令和4年度までしか結果が
出てないが41・8%で、県下4
位だったので、5年度並みで
42%を見込んでいる。

令和6年度駐車場事業
特別会計予算

我澤 隆司 議員

駅前駐車場の定期枠はなく
す方向と聞いていたが

Q 令和5年度と同じく79万
2000円となっているが。曾
根と農協前駐車場の定期駐車
場の利用状況は。

A 西本 都市建設課長

駅前駐車場は昨年と変わら
ない22台分が定期枠。募集枠が
読めないで、例年と同数にし
た。令和7年度から定期枠は募
集しない。

J Aの駐車場は現時点で19枠

のうち3枠を契約、曾根の駐車
場は61枠のうちハローワーク関
係が32枠を契約している。

令和6年度地域開発事業
特別会計予算

我澤 隆司 議員

宮田分譲宅地の販売計画は
大丈夫か

Q 全18区画のうち売れ残っ
た7区画を令和6年度で売り
切る予算設定となっているが、
売れ残った説明と売り切る根
拠は。

A 海野 財政課長

道路に面した北側と公園の
周りが売れ残った。住宅情報サ
イトでの情報発信と職員も営
業活動により売り込みを進め
ていきたい。

令和6年度簡易水道事業
会計予算

居樹 豊 議員

簡易水道事業会計の
赤字解消は

Q 簡易水道事業会計の収支
は厳しい状況であるが、料金
改定など今後の対応について
の考えは。

A 田村 産業建設部長

簡易水道については、配水池
やポンプ場などの施設が周辺
部に多く、かなりの費用がか
かっているため、給水収益を上
げるため、移住促進などにより
給水人口の増加が必要となっ
ている。

公の施設の
指定管理者の指定

我澤 隆司 議員

「郷の茶屋」の今後の考え方は

Q 佐伯地区には身近な飲食
施設がない。観光施設として
捉えるのか、地域の方が交流
できる場として、今後発展的
に考えているのか。

A 井上 総務事業課長

単なる食事の場所ではなく
観光面等を含めて、さらに佐伯
地区が盛り上がりつつあるよう
な場としても活用していきたい。

一部事務組合議会

和気町・赤磐市の一部の事務を共同で行うため、一部事務組合を設置しています。

一部事務組合の議会は、構成する和気町・赤磐市の議会から選出された議員が、予算や決算等について審議します。

(令和6年2月14日開催)

組合名	議案の件名	審議結果
和気北部衛生施設組合	令和6年度和気北部衛生施設組合会計予算について	全会一致で 可決
和気・赤磐し尿処理施設 一部事務組合	令和6年度和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合会計 予算について	全会一致で 可決
和気老人ホーム組合	令和5年度和気老人ホーム組合会計補正予算（第3号） について	全会一致で 可決
	令和6年度和気老人ホーム組合会計予算について	全会一致で 可決

委員長報告

和気町議会には、2つの常任委員会と1つの特別委員会があり、付託された議案について、特に詳しく審議します。



総務文教 常任委員会

令和6年度一般会計予算

Q 定住促進アドバイザーの予算が計上されていないのはなぜか。

A 定住促進アドバイザーの配置をやめて、令和6年度に移住推進員を1名増員する予算を計上している。これにより定住支援をカバーしていきたい。

Q 佐伯中学校の施設改修工事費について、将来的に佐伯小学校も改修の予定と聞いているが、小・中合併や義務教育学校といった展望もある中で、その方向性を決めていかなければ佐伯小学校の改修費用が無駄になると思われるが、佐伯中学校の改修の中で、合併の可能性とも踏まえた上での内容になっているのか。

A 学校施設長寿命化計画において佐伯小学校の改修工事も含めた計画を示しているが、これから佐伯地域の学校のあり方を検討していく。佐伯小

校の改修は令和12年度から予定しているが、国からの補助金の関係で、令和7年度中には方向性を出していきたい。令和6年度から地域の方や子どもたち、保護者の方の意見を聞く準備を進めている。

Q 地域学習交流センターの約5億円予算について、この施設の利用方法を具体的に教えてほしい。

A 高校生が利用することが大きな目的である。また、高校版公営塾を行うなど、地域との交流の場というスペースなども設けていきたい。

Q 新たな告知放送システムの状況について、75歳以上の高齢者の機器の申し込み状況、75歳以上の同居世帯や身体障害者等の申し込みの状況について、予算内で十分行える見込みなのか。

A タブレットの申請について、当初は1000台を予定し、追加補正でもう1000台を確保している。現在、632件の申請がでている。内訳は75歳以上のみの世帯が484件で、75歳を含む世帯が125件、75歳未満が23件の

合計632件である。また、公共施設等にも200台程度確保している。1000台を超えるか超えないかぐらいを見込んでいるが、3月中旬に各地区の説明会が終わった段階で精査する。1000台の予算に収まるのか、新年度に入って追加の申請等も予想されるので、台数については精査していきたい。

Q ふるさと納税の返礼品5800万円について、和気町の返礼品として何が一番喜ばれているのか。今後ふるさと納税をお願いするにあたり、ふるさと納税をしてくれる人のニーズに合わせてどんな返礼品を考えているのか。

A 和気町で従来から人気があるのは備前牛で、毎年安定している。納税額は約7000万円出た年もある。ブドウが年々少しずつ増えて約6000万円、今年度特に大きく伸びているのが米で約7000万円。今後は町内でも特産品を作っていきたい。また、ふるさと納税のための新しいポータルサイトに情報を上げて、返礼品の露出をいかに増やしていきたい。かも検討していきたい。



人気上位の「備前牛ローストビーフ」



人気上昇中の「無洗米岡山こしひかり」



厚生産業 常任委員会

令和5年度一般会計 補正予算(第10号)

Q 電気自動車充電設備設置工事費3000万円の減額内容は。

A 当初は国の補助金を活用した設置を予定していた。その後、設置条件が良い民間事業者を活用する方法を検討を進めた。その内容は、和気町は電気自動車の充電器設備の場所を提供するだけで、工事費用に係る一切の費用については民間事業者が負担して、EV充電器の普及を図っていくこととした。

令和5年度地域開発事業 特別会計補正予算(第2号)

Q 宮田分譲宅地に伴う長期債元金繰上償還金について、一般会計繰出金を含めてこの返還の残金はいくらか。また、残り7区画の収入見込みはいくらなのか。

A 償還について、前は令和5年3月に一部入金になった額で行った。今回は、今年度入金になった額で残り全ての額を償還するもので、2か年で起債相当分の繰上償還が終わることになる。また、残り7区画は5119万5000円

で、当初予算に計上している額である。

令和6年度一般会計予算

Q 藤公園の使用料2150万円について、入園料も改定され令和5年度の歳入から1114万3000円増の、約2倍になっているが、それに見合う藤まつりに関する歳出は全体でいくらになっているのか。入園料の改定により歳出がどうなっているのか。令和5年度の当初予算の歳出がいくら計上されているのか。また、令和5年度の決算実績でどれくらい歳入、歳出があったのか。引き上げにより入園料が増えることにより、歳出でこういった対応していくのか。入園料が上がった分サービスに力を入れるべきで、この機会にしっかりと無駄をなくして支出を抑える方法も考えるべきではないのか。

A 藤まつりについて、来年度から料金の引き上げを行い、料金収入は2150万を計上し、令和5年度の入園者数4万3000人を想定して積算している。令和6年度からの引き上げ等に向けて、施設整備として野外ステージの色塗りや、駐車場の区画線など施設の老朽化している部分の修繕を行い利便性の向上に繋げていきたい。併せてまつり期間中に園内でのコー

ヒーや特産物の販売などもプラスしてやっていきたい。また、入園券については、和気鶴飼谷温泉と藤まつり入園券のセット割引券の販売も検討している。

令和6年度の予算の歳出は1777万7000円で、歳入は2150万円、372万3000円の黒字見込みとなる。また、令和5年度の歳出の予算額が1898万3000円、歳入の決算見込が1293万3000円である。



全国に誇る藤公園

Q 心身障害者医療給付費3314万4000円について、若干条例も改正され、精神障がいについての給付医療補助が前進したのでは。

A 精神障がい者については、昨年条例改正を行い医療の拡充を図っている。総医療費の1割負担として令和5年度から3名が対象になった。令和6年度予算については、岡山県医療対象者に240人、新たに対象になった3名を含めた町医療は104人を対象にした予算を計上している。

Q 野良猫対策事業に委託料100万円が計上されているが、具体的な事業内容は。

A 野良猫対策事業委託料について、不妊去勢手術を実際に行っているNPO団体と連携して、年に5回程度不妊去勢手術ができるような場を設けようと考えていて、それにかかる費用である。

Q 昨年の9月議会で生理用ナプキンの導入を検討するとの答弁であったが、今回の予算のどこに計上されているのか。

A 生理用ナプキンの予算について、使用料および賃借料のシステム使用料21万6000円が機器の利用料金で、工事請負費20万円は機器の取り付けにかかる工事費用で、ナプキン自体については設置業者から無料で提供されるため予算は計上していない。

Q 都市計画費負担金の住宅リフォーム補助金について、どういう申し込み方法で上限はどのくらいなのか。生活されている方が車椅子になった場合、バリアフリーにする工事費も

住宅リフォームに入るのか。

A 条件は居住している家屋で、工事費が税抜きの10%、上限20万円までである。ただし工事費30万円以上が対象である。また、介護等に係る改修については、どちらの事業を選定するとメリットがあるのかを判断して実施している。なお、申請方法については、大半の方が業者を通じて行っている。

Q 産後ママ安心事業について、予算が9万1000円から82万8000円になっているが、内容がどのように良くなったのか。

A サービスの内容に変更はないが、宿泊型は1万円程度、日帰りが5000円程度の自己負担が必要であったが、要綱を改正して2万円まで町が負担することとした。施設による基本的なサービスは、宿泊型、通所型、訪問型で、利用しても自己負担がかからないよう、町の補助を引き上げた。そのため、令和6年度当初予算で費用が増額となっている。

令和6年度 下水道事業会計予算

Q 佐伯処理区マンホールポンプ修繕事業について、マンホールの場所が12か所で2497万円。和気地域も行うと大変な額になるのでは。

A 今回佐伯地域を行うが、ポンプの仕組みが和気地域と佐伯地域がかなり違っている。佐伯地域のポンプはかなり高性能なものを使っている。それを買い換えると多額の経費になるので、今回は修理して寿命を伸ばす方法だ。逆に和気地域のポンプはそこまで高性能なものでないので、起債を借りて更新していく方法が有利であると判断している。

和気鶴飼谷温泉事業 特別委員会

令和6年度一般会計予算
令和6年度和気鶴飼谷温泉事業
特別会計予算

Q 令和5年度の決算見込で事業収入2億4226万3000円が基礎数字になっていると思われるが、令和6年度予算が3億782万9000円で、前年度対比で127%程度となっている。この積算について、6月には工事が予定され、約15日営業日数が少なくなる。それを計算すると、前年度比が132.6%になるが、この根拠はどうなっているのか。

A 令和5年度はコロナの影響が残って、宴会のキャンセルもかなり多くなっているが、令和6年度は施設のリニューアルによる企画を打ち出して、団体の利用

を増やしていきたい。昨年度の当初と比較すると大幅に上げてはいないが、コロナ後の宴会の復活を見込んで予算計上している。

Q 来年度に向けて収益増加策はどのようなものか。また、光熱水費への対策は。

A 健康増進施策とコラボしたウォーキングイベントでの弁当や温泉プラン、若い世代を対象にした同窓会プランや学生を対象にした合宿プランにも取り組んでいく。光熱水費については、LEDオネラ菌対策での昇温装置や、薬剤での対応などについて検討していきたい。

Q 売店での売り上げを低く見積もっているようだが、岡山県や和気町の土産をしっかりと販売するなど売り上げを上げる方策はないのか。

A 売店での売り上げについて、仕入れ価格の高騰により順次値上げしていくため低く見積もったが、温泉の名物を現在開発中で、令和6年度中に完成させて販売していきたい。

Q 改善計画に基づいてやっているが、毎年同じことを言っているが、これくらいいつまで町から繰り出してやっていくのか。はじめをつけて、目標をもって新しいやり方を打ち出さないといけないのでは。

A 来年度の繰り入れについては主に施設改修に使用するものである。収支については、一生懸命頑張るしかないと思っているので理解願いたい。

Q 薬草園管理棟の位置づけと予算はどうなっているのか。

A 薬草園管理棟については羊かんの製造で利用していて、それに関する光熱水費を計上している。

Q 今回多額の経費をかけて設備をリニューアルするが、和気鶴飼谷温泉のイメージを変えるチャンスでもある。休館後に新しいプランを打ち出せるよう、どう考えているのか。魅力的なホームページの作成もできるのか。

A これまで更新できていないホームページをリニューアルしていく。また、客室のテレビ画面でのインフォメーションサービスも考えている。同窓会プランや益原多目的公園のリニューアルに合わせたイベントや、藤まつりとのコラボ企画もやっていきたい。



ズバリ!
ここが気になる!

一般質問

〈一般質問とは〉

一般質問とは、議員が和気町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行機関(町)に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。

一般質問は一問一答方式で行われ、質問時間は質問・答弁を合わせて40分間です。

議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

3月議会定例会では9人の議員が質問しました。



PAGE
13

山田 浩子議員

- 福祉避難所に直接避難できる体制整備は
- 町の情報発信の一元化を
- ICT教育の推進を

PAGE
14

居樹 豊議員

- 子育て支援の充実強化を
- 都市計画等の見直しを

PAGE
15

山野 英里議員

- 教育のまちとして今後のビジョンは

PAGE
16

神崎 良一議員

- 人口減少対策は
- 包括連携協定は
- 和気町の水は安全か

PAGE
17

広瀬 正男議員

- 町営バス運転手の定年制度は
- 益原多目的公園の駐車場増設工事は

PAGE
18

我澤 隆司議員

- コミュニティFM局との災害連携と町の情報発信は
- 片鉄ロマン街道、和気アルプスは和気町を代表する観光資源と考えるが
- 京セラグループとの今後の連携は

PAGE
19

山本 稔議員

- 水道施設の耐震化は
- 町の防災対策の見直しは

PAGE
20

西中 純一議員

- PFOS・PFOAが水道水中にあるなかで町民の健康に悪い影響はないのか
- 見直し、除去対策はどうするのか
- 浚渫(しゅんせつ)残土等処分場の進捗状況は

PAGE
21

山本 泰正議員

- どうする衰退する農業行政
- 高齢化が進む農業の高齢化対策と後継者対策は
- 農業農産物を推進すべきでは
- 農業施設の管理支援策は



福祉避難所に 直接避難できる 体制整備は



直接、福祉避難所に行ってもらえるよう、調整していかねばならないと考えている

動画はこちら



山田 浩子 議員

Q 災害時における対応は。

① 自宅介護者等の福祉避難場所は。

② マンホールトイレなどの活用は。

③ ドローンの活用は。

④ 企業との連携は。

⑤ 防災啓発イベントを開催しては。

A 河野 危機管理室長

① 町内の11の社会福祉施設と協定を締結している。昨年12月に福祉避難所の開設訓練を実施した。自宅介護者等の方は、まず一般の避難所へ避難し、その後、福祉避難所へ移動する流れになっているが、直接、福祉避難所に行ってもらえるように調整していかねばならないと考えている。

② マンホール対応の組み立て式トイレを21基備蓄している。他にも下水管破損時でも使用できるポタン二つで排泄物を密閉できるものなど、様々なタイプを研究すると同時に、民間企業との協定も模索していきたい。

③ ドローンを活用して、災害時の現場確認を行っている。物資運搬での

運用は想定していない。今後の動向で検討していくこともあり得る。

④ 自治体や団体、民間企業など、39の災害協定を締結し、災害時に備えている。

⑤ 以前、ふるさとまつりで防災食の試食、防災グッズの展示などを行った。モデル地区、防災関係の業者なども連携し、イベントだけでなく、防災の研修会などでもPRしていきたい。



過去に行われた防災イベント

町の情報発信の一元化を

Q 財政課が広報担当であることに違和感がある。各部署に合わせた業務の割り振りが必要では。また、情報発信をプロデュースする部署が必要では。

A 永宗 総務部長

町民の方からも同様の意見をいただいている。今後の事務再編にあたっては、効率的、効果的な組織編成はもちろんのこと、わかりやすい組織名称にも配慮したものとしていきたい。町の広報、シティープromoーションなどについて、総合的にコーディネートするような部署、担当者の配置もできれば大変効果的であると考えている。今後、検討していきたい。

ICT教育の推進を

Q 和気町はICT教育に熱心に取り組んでおり、全国でも上位である。日常的な端末の利活用として、タブレットでの宿題もあるが、学童施設ではその宿題ができない。ぜひ、インターネット環境の整備を。

A 新田 教育次長

現在、放課後児童クラブではインターネットに接続できない。今後、環境を整備し、引き続きICT教育を推進していく。





子育て支援の 充実強化を

Q 本町にとって人口減少対策は、当面の最重要課題であり、少子・高齢化の下で近隣市町も、新年度予算に子育て支援を重点施策としている。生活インフラも整備され、これからの持続的発展は福祉施策の推進にかかっている。そこで、子育て支援の具体的な考えを伺いたい。

A 松田 健康福祉課長

- ① 子育ての環境は大きく変化しており、本町としても町独自に出産祝い金の創設や子育て支援センターの充実など、支援体制の充実を図っている。来年度は、子ども・子育てに関する町民アンケートを実施し、より細かなニーズを把握し取り組んでいく。
- ② 育児用品の補助については、近隣市町ではオムツなどの支給を行っている。今後、町民アンケートをベースに、本町に即した政策を進めてまいりたい。
- ③ 新入学児童・生徒学用品の支給補助は、県内その他の自治体において支給補助を行っており、今後、研究してまいりたい。



子どもひろば

Q 子育て支援は喫緊の課題であるが、思い切った施策が必要ではないか。

A 太田 町長

今後ともタイムリーな形でニーズに合った支援を大胆に考えていきたい。



前向きに検討して いきたい

都市計画等の見直しを

Q 本町の都市計画については昭和51年に定められ、それ以降、今日まで全く見直しがないので、考えを伺いたい。

- ① 用途地域を指定した後の社会事情、環境の変化。
- ② 現状の課題と見直しの必要性。
- ③ 農業振興地域の実態と現状に即した計画。

A 西本 都市建設課長

- ① 本荘小学校区では、用途地域に隣接する非線引き地域に住宅地が形成されてきたり、一部そぐわない地域があることも十分認識している。
- ② 用途地域の見直しについては、必要に応じて検討すべき大きな課題であると認識している。

A 岡 産業振興課長

③ 農家の高齢化や若者の農業者離れにより、作付けされていない農地や適正に管理されていない農地が増加傾向にあると認識している。将来的な見通しを総合的に検討し、農業振興と地域の現状に即した土地利用の両面から計画策定の必要性があると考えている。

A 今田 副町長

用途地域の変更については、まちづくりを形成する重要な要素であると承知しており多くの課題があるが、前向きに考えていく必要があると認識している。

動画はこちら



居樹
豊議員





教育のまちとして 今後のビジョンは



今後の社会を見据えて、 4つの柱を掲げている

動画はこちら



山野 英里 / 議員

Q 佐伯小学校、中学校について、令和7年度中には方向性を出さなくてはいけない。今後の形態は。地域住民と対話する機会を設けられないか。

A 徳永 教育長

現時点で3つの案を考えている。

第1案、現状のまま。地域に学校はそのまま残るため、変更の必要はない。しかし、少子化による学校規模の縮小化が進み、教育活動維持の困難さが顕著となる。

第2案、和気中学校と佐伯中学校を統合し、町内1中学校とする。

中学校が1つとなることで地域を越え交流できる。佐伯地区内の学校は小学校1校となり、地域の過疎化や活力の低下などが予想される。佐伯地区の中学生の多くはスクールバスでの通学となり、通学時間の増加などの課題もある。

第3案、佐伯小学校と佐伯中学校小中一貫校とし、佐伯中学校校地内へ小学校校舎を整備する。また、小中一貫校の一形態

である義務教育学校への移行も考えられる。しかし、学校整備のための予算措置が必要となり、財政負担は増える。
地域住民と対話し、様々な意見を聞きたい。

Q 統廃合するかしないか

の話だけでなく、今後の人材育成や地域の活性化も考えていってほしい。イエナプラン教育[※]など特色のある教育を佐伯小学校、中学校に導入できないか。

A 嶋村 学校教育課長

過疎化が進む地域での教育の重要性を実感している。イエナプラン認定校は開校前よりも、児童数が倍増している。

新しい教育を、地域の実態に応じた形で取り入れていくことは、研究を進めていかないといけない。

子どもがいることは地域の活力となる



※イエナプラン教育とは…ドイツではじまりオランダで広がった、一人一人を尊重しながら、自立と共生を学ぶオープンモデルの教育

Q 教育のまちとして学びについての考えと今後のビジョンは。

A 徳永 教育長

和気町の特色ある教育づくりに取り組んでいきたい。子どもたちが社会に出る頃を考えたときに、どういった社会になるかを考えた上での教育を、今、しておかなければならない。

本町が力を入れて取り組んでいる教育には、4つの柱がある。子ども一人一人の輝く笑顔のため、教育のまち和気にふさわしい教育の充実発展に、取り組んでいく。

4つの柱

- ① GIGAスクール構想のさらなる推進。
- ② 和気町の特色である英語教育のさらなる推進、充実。
- ③ 人権教育の推進。
- ④ ふるさと学習の充実。

意見

教育とは、町の魅力を発信する重要なもの。ここで、アップデートできれば、さらに魅力ある町として成長できる。
自然や人の温かさなども取り入れた、和気町らしい教育について考えていく時期だ。



イエナプラン教育を導入して児童が増えた学校



人口減少対策は



住まいの確保や子育て 若い世代の移住を進める

動画はこちら



神崎

良一
議員



Q 人口減少対策について

- ①現在進めている対策事業は何か。
- ②その事業効果や移住・定住策の効果はどうか。
- ③人口の社会減の要因は。
- ④企業誘致についての考え方は。
- ⑤人口増加策として外国人の移住は。

A 寺尾 まち経営課長

- ①移住推進による町外からの移住者の獲得、分譲地整備等による住まいの確保、子育て支援や教育の充実、企業誘致などを行っている。
- ②移住分野において、過去7年間で約700人、昨年度でも80人程度の移住者を迎えた。出生者数を補う効果も出ている。

A 太田 町長

- ④和気町に企業側から土地等の相談があれば、対応している。工場用地等を用意している。工業団地造成は町としてはリスクがあり、現在のところ考えていない。
- ⑤人口減少への対策は、現在は移住推進や定住策で、今後は、若い世代や外国人を取り込むことだ。そのためには、住まいの確保や子育て支援、教育環境の整備、働く場所の確保といった施策を積極的に進めていく。

- ③平成27年度から令和元年度までの5年間の転出された方へのアンケート結果が十分参考になると考えている。
- (1) 仕事の都合によるもの 223件 (2) 結婚 92件 (3) 住まいの都合 39件

包括連携協定は

Q 今後も大学との包括連携協定を進めるのか。

- ①現在どの大学と結んでいて、今後どの大学と結んでいくのか。
- ②その協定の目的、意義は何で、どう活用していくのか。

A 寺尾 まち経営課長

- ①現在、ノートルダム清心女子大学、山陽学園大学、岡山商科大学、就実大学、環太平洋大学の5つの大学と締結済み。鹿ソニック等の件で今岡山理科大学と協議を進めている。
- ②地方創生に向けた地域社会の発展や人材育成というのを目的として、地域文化の振興や人材育成、交流、施設の相互利用等で連携していく。岡山商科大学、山陽学園大学、環太平洋大学とは、まち・ひと・しごと創生有識者会議への先生の派遣を行っている。また、環太平洋大学では、学生による模擬授業や町内でのボラン



岡山商科大学で講演する太田町長

ティア、また和気ベースボールパークの利用といった交流を行っている。岡山理科大学とは、先進的な研究を活用した連携内容にしたい。

A 太田 町長

ノートルダム清心女子大の学生には、公営塾の講師を依頼している。環太平洋大学の学生には、ボランティアで和気町に貢献してもらっている。岡山理科大学とは協定を結び、好適環境水をはじめ様々な分野で協議していく。

和気町の水は安全か

Q 水質検査はどこで、どのぐらいの回数を計画しているか。

A 太田 町長

2023年10月24日の町内の水源の水質検査結果としてPFOS、PFOAの暫定、目標値が50ナノグラムのところ、吉田水源で6ナノグラム、それから南部水源においては14ナノグラムが検出をされた

ことを受け、2024年の当初予算に水質検査の予算を計上した。吉田水源、南部水源の付近で水質検査を年間2回予定している。今後も町民の安全・安心、また本町の自然環境の保全に努めていく。



町営バス運転手の 定年制度は

Q 町営バス運転手の定年制度については70歳定年で、医師の診断書があれば72歳まで乗務ができることになっているが、健康で気力がある運転手について75歳まで乗務できないのか。

A 河野 危機管理室長

令和5年6月に会計年度任用職員である町営バス運転手の雇用に係る定年制度の規定を定めた。定年を満70歳とし、次の条件を満たした者は72歳まで再雇用する。

- ① 70歳から毎年、脳ドックを受診する。
 - ② 健康上、特に問題がない。
 - ③ 71歳で適齢診断を受講する。
- 以上の3点を条件としている。

一般的に、高齢化に伴う運転技術や危機察知能力の低下が交通事故になることが増加傾向にあると言われているが、町ではこの規定により運用していく。

A 太田 町長

人によって健康状態は様々である。行政の立場として一定のラインを引くことは必要と考える。一般的に定年は65歳であるが、運転手には5年延長してお世話になっているので理解願いたい。



一定のラインを 引くことは必要



町営バス「わけまる号」

益原多目的公園の駐車場増設工事は

Q 益原多目的公園の駐車場増設工事が行われる予定だが、進捗状況はどうなっているのか。

A 岡 産業振興課長

当公園駐車場の収容台数は現在約230台で、大きなイベントの際にはすぐに満車となる。この問題を解決する施策として、駐車場の増設を計画していて、予定地は公園西側の農地で、100台程度の駐車が可能となる。令和6年度に用地購入と測量設計を合わせて行い、令和7年度に造成工事を行う予定としている。

A 太田 町長

多目的公園の駐車場については、スピード感をもって進めたい。



駐車場予定地

動画はこちら



広瀬

正男
議員





コミュニティFM局との 災害連携と 町の情報発信は

A

災害を含めた情報伝
達手段として有効と
考える

動画はこちら



我澤隆司議員

Q

岡山シティエフエム（通称レディオモモ）は、赤磐市が総務省のラジオ難聴対策事業でアンテナを建設し、和気町が放送エリアに入っている。情報発信や防災補完メディアとして検討できないか。

大災害時に「しらせあい」だけでの情報発信は難しい。連携すれば、岡山市内から和気町に向けて災害放送もできる。インターネットで24時間放送が聴けるメディアだ。

情報伝達手段の一つとして、連携を検討することは有意義だ。和気町の新しい告知放送がスタートする中で、様々な課題解決に向けて考えたい。



A 河野 危機管理室長

「しらせあい」がどう働くかを確認しながら、補完すべきことがあれば検討したい。

A 太田 町長

コミュニティFMとの災害連携は、総務省も注目しており、東日本大震災や真備の水害でも実証されている。災害時だけでなく通常の情報発信メディアとしても有効と考える。

意見

「しらせあい」がどう働くかを確認しながら、補完すべきことがあれば検討したい。

片鉄ロマン街道、和気アルプスは和気町を代表する観光資源と考えるが

Q 片鉄ロマン街道と和気アルプスの拠点として、モンベル社などと組んで、アウトドア観光ステーションが作れないか。

矢掛町と国土交通省の「かわまちづくり事業」では、モンベル社を指定管理業者の候補者とした。こうした官民の連携をどう考えるか。



片鉄ロマン街道と和気アルプス

A 岡 産業振興課長

アウトドア系の企業は、ブランド力だけではなく、防災も含めて専門的なノウハウを持ち合わせている。連携はとても有効と考える。モンベル社は県内では、備前市、鏡野町、矢掛町と連携協定を締結している。

Q 益原多目的公園は、温泉や和気アルプス、片鉄ロマン街道と隣接し、大化けする可能性のある施設だ。行政単体では難しいのではないか。

A 太田 町長

鶯飼谷温泉や多目的公園をどう発展させるか行政だけでは難しい問題もある。専門家とも話し合う機会を持ちたい。

意見

質問のきっかけは、登山客が増加する和気アルプス帯にトイレが不足している問題。近隣の神社などに多大な迷惑をかけている。こちらの解決策も求めたい。

京セラグループとの今後の連携は

Q 情報端末「しらせあい」の事業者である京セラみらいエンビジョンを通じて、京セラグループとの包括連携はできないか。社長との接触が、決定後なぜ10か月もの間があるのか。執行部は京セラみらい社を訪問したか。

A 海野 財政課長

京セラグループが持つ知識や技術を生かす場面があれば、包括連携を模索したい。

訪問日程は、和気町が抱える課題を的確に把握しなかったとの理由のようだ。京セラみらい社への訪問は実現していない。

A 太田 町長

積極的に企業と交渉するということは、否定をするものではない。連携は非常に有用だと考えている。

意見

京セラは高梁市出身の伊藤謙介さんも創業者のひとり。社長、会長を務めた企業。伊藤記念ホールや一氏賞の創設など、岡山とも縁のある企業だ。継続的にアプローチをしていただきたい。

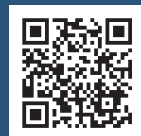


水道施設の耐震化は



和気町は28・5%しか耐震化できてない

[動画はこちら](#)



山本
稔議員



- Q** ①水道管の耐震率は
②施設及び水道管について耐震化の予定目標は

A 田村 産業建設部長

①全国は41・2%、岡山県は25・6%で全国46位、和気町は28・5%で耐震化は進んでいない。

②総合計画では、令和7年度に3施設で耐震化を行っていく予定である。現在耐震化ができていない施設は天瀬配水池のみで本年、新石生が完成し、来年度新曾根の配水池の更新に取り組んでいく計画である。今後、老朽化に対応しながら配水システムを最優先で進めていきたい。

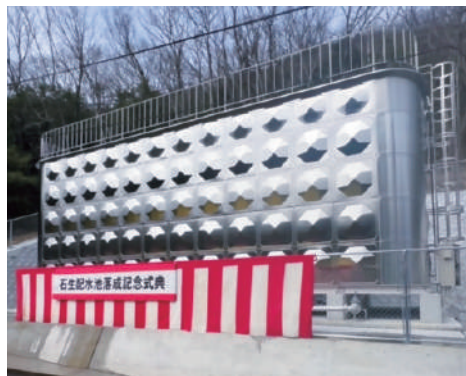
Q 耐震化が進まない理由は

A 田村 産業建設部長

水道事業は独立採算制のため料金収入が少なくなかなか進めることができないが、古いものは順次耐震化していく。



断水時に水を配ることができます



完成した石生配水池

町の防災対策の見直しは

- Q** ①防災対策の指針になるものは
②地震対策は今のままでいいか
③災害ごみの置き場は今の計画でいいか
④ボランティアセンターや仮設住宅などどこに設置する予定か
⑤配水車の使用方法について地元住民の方と訓練しないか

A 河野 危機管理室長

- ①災害基本計画による和気町地域防災計画が指針となっている。地震については南海トラフで震度6弱、山崎断層帯地震は震度5強那岐山断層帯地震で震度5弱を想定している。
②国、県の基本計画の変更に伴い和気町も修正していく。
④社会福祉協議会が作成しているマニュアルでは和気鶴飼谷交通公園に設置する予定で仮設住宅は基本的には公有地に設置する。

A 山崎 生活環境課長

③旧小学校区単位で17の候補地を選定している。

A 井上 総務事業課長

⑤地元住民参加の訓練を行いたい。

Q 防災公園のような広い災害ごみ置き場や仮設住宅候補地の考えはないか。

A 太田 町長

道路の寸断などを考慮すると1か所より分散が良いと考える。



PFOSとPFOAが
水道水中にあるなかで
町民の健康に悪い影響はないのか

Q 同僚議員の質問で1リットルあたり6ナノグラムあるいは14ナノグラムという程度の水源地の汚染と報告されている。低い濃度でも長年飲料としているとがんなどの疾患が心配される。早急な対応をお願いしたい。

A 田村 産業建設部長

水道水における有機フッ素化合物について令和2年4月に暫定目標値としてはPFOS、PFOAの総量が1リットルあたり50ナノグラムとなっている。和気町では南部水源で14ナノグラム、吉田水源では6ナノグラムだったということですので今のところは大丈夫かと推測される。暫定目標値が改正されれば検討を行う。

見直し、除去対策はどうするのか

Q 今後PFOS、PFOAの原因物質を除去する
など対策はどつするか。

A 田村 産業建設部長

国の動向も踏まえてやっていきたい。

活性炭を使って吸着装置をといることだがこれは施設内にいったん水を通す活性炭を入れる水槽（プール）



暫定目標値以下
であれば当面は
大丈夫だ

を整備しないといけない。施設整備はなかなか難しい。吉田水源については宿水源から送水が可能となっている。また南部水源については代替えの水源はないので新曽根の配水池の整備をして上水道からの応援をもらうか、備前市からの給水も検討する。

水道水の目標値(基準値)		
	PFOS	PFOA
アメリカ	4ng/l	4ng/l
日本 (暫定目標値)	あわせて 50ng/l	
WHO	100ng/l	100ng/l

※1ngは10億分の1g

残土処分場の進捗状況は

Q 令和4年度から働および日笠上地区の浚渫(しゅんせつ)残土処分場の建設を行っている。
その進捗状況は。完成すれば和気町にどのような町政上のメリットがあるか。

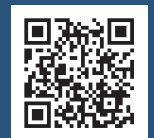
A 西本 都市建設課長

働の残土処分場は0.6ヘクタール、受け入れ土量3万2000立方メートルの予定で岡山県が令和5年2月から工事中。日笠上の浚渫残土等処分場は面積2.9ヘクタール、受け入れ土量16万8000立方メートルで、和気町が令和5年5月から工事を進めている。働の岡山県の工事は予定どおり進行して進捗率約15%、日笠上は県道横断排水工等の主要工事が完了し、現在調整池の工事実施中で最終の完成形の進捗率は約35%である。令和6年度は付帯工事を実施し、令和7年度からの受け入れを目指す。

町政上のメリットは町内を

流れる吉井川及び支流の河川では、長年の土砂流出及び堆積により流下能力の低下がみられる。水害を防止するため浚渫等による早急な河道整備が必要である。浚渫土の処分に苦慮していることから処分場を2か所整備させていただいたところである。町民の安全安心に寄与することができる。

動画はこちら



西中 純二議員



工事が進む残土処分場



どうする 衰退する農業行政

A

交付金等を活用し 支援したい

動画はこちら



山本 泰正 議員



農業施設の管理支援策は

Q 高齢化が進む中山間地域の農道・水路・河川等の管理放棄状態が多く見受けられる。特に急斜面の草刈りは高齢者にとっては危険な作業のため、荒廃地域が増加の一途をたどっている。
そこで、日笠地域の二部で実施している防草シートの助成はできないか。



日笠地区の防草シート設置状況



管理された河川



管理不良で放置された河川

A 岡 産業振興課長

農道・水路等の維持管理の省力化については、支援の検討が必要と考える。
個人や地域での管理が困難な場合には中山間地域等直接支払制度の活用や、公有地については、原材料支給制度の活用を検討したい。

意見

昨今、坪30000円以上で、遊休農地を買いたいとのテレビ放映を見るが、今後の中山間地域の将来が心配だ。高齢者が元氣を出し、若者が関心を持ち農業経営に参画できるように行政を推進するよう強く要請した。



株高・賃上げと日本の経済状況は上昇機運だ。
一方、米価は上がらず、肥料を中心に農業資材の高騰に悩む農家が増大している。
そんな中、今回の当初予算において、農業生産資材購入支援事業として、肥料など農業資材購入に2600万円余もの農業支援を計上していることに対し、農業者の一人として感謝しているところだ。
しかし、小規模農家においてはまだまだ厳しい状況であることをふまえて次の質問を行う。

高齢化が進む農業の高齢化対策と後継者対策は

Q 「農機具が故障したのもう農業をやめようか。」また、「うちの若いもんは、採算の取れない農業なんかもうやめよう。」との声もあり苦慮している農家が増大している。

そこで、大規模な農業組織ではなく、気心の知れた近隣農家の3・4人で農機具の共同利用組合を組織し農地を守れないか。

当然、行政の支援は必要であり、検討されたい。

A 岡 産業振興課長

小規模な営農組織の設立運営は、農地を守るための一つの手段と考える。持続可能な農業へ向け重要であり、今後協議検討したい。

農業特産物を推進すべきでは

Q 晴れの国おかやまの和気町、県内の最高気温・玉野、岡山等に続き、上位に位置し、一方、最低気温は、県北の津山よりも低い時もあり寒暖差の大きな盆地気候だ。

この特性を生かし、おいしい野菜・おいしい果物の産地化を推進し、ふるさと納税の返礼品として大いにPRすべきではないか。

A 岡 産業振興課長

米、ブドウなどの農産物はふるさと納税の返礼品として非常に人気がある。そうした農産物に支援を強化し、ふるさと納税寄附増を図り、その増収分で支援を充実することにより、好循環を生み出せればと考えており十分検討したい。



表紙写真を 募集しています



あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！

発行月(1、4、7、10月)にふさわしい町民の笑顔やイベント行事などの写真をお送りください。

採用になったお写真は、『議会だより』表紙に掲載するとともに、誌面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッズを差し上げます。

*詳しい応募要項は、和気町議会ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

今月の表紙

満開の桜の中で、満面の笑顔



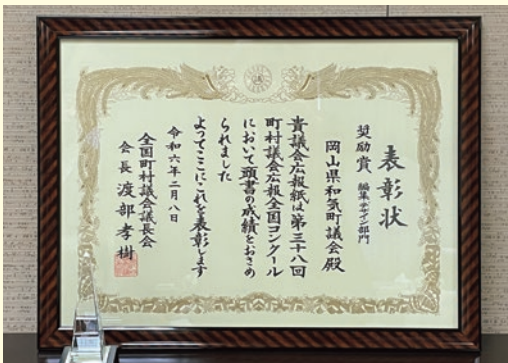
一部加工・トリミングして掲載しています。

撮影場所：和気町多目的公園

撮影者：議会広報編集委員会

コメント：公園内に大型複合遊具やスケートパークが完成しました。満開の桜の中、子どもから大人まで満面の笑顔に包まれていました。

「和気町議会だより 第69号」が表彰されました



編集後記

新緑の候、皆様におかれましては益々のご活躍のこととお慶び申し上げます。さて議会広報編集委員会も新メンバーとなって1年経過し、皆様に読んでもらいやすく、議会の活動がよくわかる広報誌を目指して取り組んでまいりました。この度コンテストで部門表彰も受けました。なお一層良い議会だよりの編集に取り組んでいきたいと委員一同思っています。ご意見、ご要望ございましたら議会広報編集委員会までお寄せください。

(山本稔)



和気町議会だより 第72号 令和6年4月25日発行

和気町議会広報編集委員会 岡山県和気郡和気町尺所555番地 TEL0869-93-1121(代)
和気町議会ホームページ <https://www.town.wake.lg.jp/gyosei/choGikai/>



和気町議会
ホームページはこちら!

和気町議会 検索